

2017年度 政治学研究会

政治学研究科では以下のように研究会を開催しました。(肩書きは当時)

- 第1回 4月27日(木) 野口雅弘(本学法学部教授)
「カール・シュミットの呪縛－『包括政党』catch-all-partyの政治思想史」
- 第2回 5月18日(木) 浅羽隆史(本学法学部教授)
「地方債における建設公債の原則の位置付けと健全性に与える影響」
- 第3回 6月29日(木) 高安健将(本学法学部教授)
「英国における執政機能の強化－首相支配・合議制・各省の自律性」
- 第4回 7月8日(土) 三谷太郎(東京大学名誉教授)
書評者：光田 剛(本学法学部教授)
「書評・三谷太郎『日本の近代とは何であったか－問題史考察－』」
- 第5回 9月28日(木) 保元 誠(本学法学部博士前期課程)
「断絶する安全保障構想
－沖縄米軍海兵隊基地に対する日本政府と沖縄の連携と乖離」
- 第6回 10月19日(木) 鮎川洋子(本学政治学研究科博士前期課程)
「政党の政策実現能力－民主党政権の『失敗?』」
長谷崇弘(本学政治学研究科博士前期課程)
「難民における無国籍性について
－アーレントの著作を手がかりにして－」

第7回 12月21日(木) 宮崎 悠(北海道教育大学教育学部講師)

「ポーランド史における『記憶の共有』とユダヤ人問題」

立石洋子(本学法学部助教)

「自国史教科書にみる現代ロシアの歴史認識」

第8回 1月18日(木) 平石 耕(本学法学部教授)

「A.D. リンゼイ再考-疎外・キリスト教・デモクラシー」